

# センター通信



駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター



駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターでは、森林作業を体験して技術の習得や楽しみ方を学び、理解を深めることで、森林ボランティア活動への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材育成を目的とした「森林ふれあい塾」を開講しています。

また、渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」と、メニューを統合した企画により、「森林づくり塾2019」では塾を年6回開催するほかに、「森への誘い講座」への参加も2回計画し、15名の塾生が様々な森林作業等を体験しました。

## ◎『森林ふれあい塾2019』

5月19日の第1回塾では、開講式の後、広葉樹のポット苗とマイ箸づくりを体験。箸づくりでは初めての鉋(カンナ)掛けで、ヒノキの香りのする薄くてきれいな削り屑に感動していました。

6月23日の第2回塾には、森への誘い講座生も参加し、

カリマ国有林で下刈の体験。



下刈体験

最初はぎこちない下刈鎌の使い方でしたが、次第に慣れ、順調に作業を進めていました。終了後の鎌研ぎの講習では、研いだ鎌の切れ味を試し、道具の手入れが重要であることを実感していました。

7月20日の第3回塾は、森町にある株ハルキの製材やプレカット施設等を見学、



木材加工場の見学

普段は見ることでできない木材加工の現場で、熱心に説明を聞いていました。

午後からは七飯町の西大沼国有林の樹木博士認定常設コースで、樹木の特徴や樹種の識別方法等について学習しました。

8月25日の第4回塾には講座生も参加し、軍川(いくさがわ)国有林でトドマツ人工林の間伐作業を体験。殆ど



間伐体験

の人が初めての体験でしたが、まず伐倒方向を決めてから受け口を切り、次に追い口を切り、倒した木の枝払いと玉切りまで、手順良く安全作業に取り組んでいました。

10月6日の第5回塾は、講座と共同開催で、吉野山国有林において広葉樹の植付体験。多様性のある森林への成長を願いながら、ミスナラや

エゾイタヤ等の広葉樹の苗193本を植栽しました。

10月23日の第6回塾も共同開催で、「森からの贈り物(キノコについて)」を実施しました。

## ◎『森への誘い講座』への参加

9月4日の講座「横津岳を楽しむ」に塾生も参加、エゾヤマリンドウなどの高山植物の観察や登山を満喫しました。

9月18日の「縄文文化と自然」では、函館市縄文文化交流センター等で、北海道唯一の国宝である中空土偶「茅空(カックウ)」や遺跡等を見て縄文人の自然観を体感した後、道有林の治山環境の森を散策しました。



縄文遺跡見学(国宝中空土偶)

今後も、民有林と国有林のお互いのフィールドを共有し、地域の特徴をより活かした森林づくりのための体験活動として、連携した取り組みを進めていきます。